

グループワーク記録メモ - グループ4

テーマ1 まちの変化を確かめる - 無くなってしまったもの、新しく付け加わったもの

- ・ 商店が減ってしまった。お風呂屋さん、豆腐屋さん、肉屋さん、自転車・バイク屋さんなど昔はいろいろなお店があった。お風呂さんと豆腐さんがなくなると商店街はだめになると聞いたことがある。
- ・ お風呂さんがなくなると、アパートもなくなるようだ。お風呂がないからか。
- ・ 食事の出来るところが無くなった。
- ・ 顔の見える人間関係が少なくなっている。
- ・ 今はマンションが建っている場所に、昔、市場があった。そこは、お店が、よく変わり長続きしなかった。この地区は外からやってくる人が少ないため、地元の人が利用するお店以外は成り立たないのかもしれない。
- ・ 夜、富ヶ谷から渋谷方向をみるとマークシティまでの間は明りが少なく真っ暗だ。
- ・ 町内に公園が3か所あるのだが、周りを囲まれていて入りにくく、雰囲気は暗い。使い勝手も悪い。また、ボール遊びをしてはいけないなどのルールがあって、子どもが自由に遊べる場所になっていない。
- ・ 昔の子供は外で元気に遊んでいた。ところが今は、公園に集まってゲーム機をいじっている子どもたちを見かける。
- ・ マンションが増えて若い人は入ってきている。ただ、なかなか町会と関わってくれない。
- ・ 以前は流し盆踊りをやっていた。町内に4か所神酒所があり、それを結ぶように踊りの列が出来ていた。今は、大学の敷地を借りて盆踊りをやっているが、昔の流し盆踊りはよかった。町会はひとつなのだが、神酒所については地区ごとに建てることになっていて、今は地区ごとの関係が上手くいっていない。まとめる人が必要になっている。
- ・ 最近の集中豪雨により、冠水する場所がある。
- ・ 富ヶ谷では、集合住宅でも3階か4階ぐらいまでのものが多く、エレベーターが無い。高齢者にとって暮らしやすいのだろうか。
- ・ 買い物には問題が生じている。高齢者が増えており、坂の上り下りを負担に思う人が多いのではないかと。上り下りせずに買い物出来るようになるとういのだが、最近は移動販売もあるようだ。
- ・ 昔のような個別のお店である必要はない。コンビニのように買い物も出来、銀行も入っているものでよい。買い物のニーズも変化している。
- ・ 若い世代は、富ヶ谷の商店街では買い物をせず、上原など、他の地区で買い物をしているようだ。

テーマ2 地域の資源を見つける - 将来、子どもたちにあるいは次世代に残したいもの

- ・ 東海大学には是非残ってもらいたい。まちづくりにおいて大学に期待するところは大きい。
- ・ 大学の建替えについて、事例で紹介されたような広場が出来ると良いと思う。高層化して周りに広場取ってはどうか。建築の規制があって高い建物は建てられないようだが、地元からも意見を言ったらよいのではないか。
- ・ 商店街は残したい。
- ・ 住宅の建替えが結構あるのだが、共同化したらよいのではないかと思うこともある。建替えのときに、もっと早く言ってあげれば出来るのではないか。
- ・ 狭い行き止まり道路が多い辺りの人は町会に入っていない人が多い。今回のうなまちづくりの会にも出てこない。高齢の人が多いと思うのだが、どのような意見をもっているのか、よく分からない。大学の建替えや今回のまちづくりの検討についても知られていないのではないか。
- ・ 保育園につながる道の行く入り口にある家が最近火事になった。最初は、園児たちを保育園裏の公園に避難させようとしたのだが、そこまでは熱波が来るので、別の広場まで避難したと聞いた。避難の問題もある。